

毎週日曜発行
2025 9/14

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



地球のためにできること

原爆投下80年の広島



広島市は8月6日、原爆投下から80年の大きな節目を迎えました。厚生労働省によると、広島と長崎に投下された原爆の被爆者の平均年齢は86.13歳。直接被爆を体験した人の話を聞く機会が

きょうのテーマ

若者が被爆を学び伝える

16 平和と公正をすべての人に



減る中、広島では若い世代が被爆の悲惨さを学び、広島を訪ねた同年代の若者に平和を考えてもらおうと、活発に活動していました。

(8面に関連記事)



5日、名古屋市の英語塾に通う中高生10人が広島市に到着しました。一行を出迎えたのは、市内の高校に通う明石華さん(17)と佐伯拓実さん(16)。参加者とすぐに打ち解け、「平和って何だろう」「日常生活の中で何ができるだろう」と自身に問いかけ、答えをシートに書き込んでいく「マンダラート」に挑戦

みんなの将来



①同世代の中高生に向けてプレゼンする明石さん(左)＝8月5日、広島市
②平和記念公園で折り鶴を折ってもらう山形さん(右)＝8月6日、広島市

しました。研修を行ったのは、広島市のNPO法人「ピース・カルチャー・ビレッジ(PCV)」。「平和記念公園のガイドや、平和を考えるワークショップの進行役を受け持つ若者を育成しています。明石さんと佐伯さんもガイドの一員です。サッカー観戦で広島を訪れた人らに、原爆や平和記念公園などの説明をします。同世代が案内役になり、お互いに学び合うことが目標です。PCVは持続可能な活動を目指

して、ガイドを有料で引き受けています。「案内がうまくできなかったり、質問に答えられなかったりして、悔しい思いをすることもありますが」と2人は言います。その悔しさを力に変えて、原爆や平和についてさらに深く学んでいるそうです。

地元出身でないのにガイドをしていいのか、と悩んだこともありましたが。「でも県外出身者ならではの視点もあると思う」と山形さん。当時を知らない世代や地元以外の人々が、平和を伝える輪に参加していくことの意義を感じながら活動を続けています。



みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

この日 何の日

◇16日(火) アサイーの日

美や健康に良いというブラジル原産の果物アサイーの魅力を伝える日。最近ではシリアルや果物を盛り付けた「アサイーボウル」が人気です。2024年の「新語・流行語大賞」候補にもノミネートされました。

きょうの紙面

- 2面 イマ★どき
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 キホンがわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 広島の若者の伝承活動